



2020年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月14日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 尚
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241
 定時株主総会開催予定日 2020年10月28日 配当支払開始予定日 2020年10月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年10月29日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年7月期の連結業績（2019年8月1日～2020年7月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期	7,947	11.9	179	—	86	—	171	—
2019年7月期	7,101	△15.3	△344	—	△410	—	△625	—

(注) 包括利益 2020年7月期 45百万円 (-%) 2019年7月期 △701百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年7月期	37.14	—	4.0	0.9	2.3
2019年7月期	△135.51	—	△13.5	△4.3	△4.9

(参考) 持分法投資損益 2020年7月期 -百万円 2019年7月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期	10,400	4,324	41.6	936.96
2019年7月期	9,307	4,279	46.0	927.06

(参考) 自己資本 2020年7月期 4,324百万円 2019年7月期 4,279百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年7月期	△339	△682	910	2,480
2019年7月期	209	△667	475	2,628

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年7月期	—	0.00	—	5.00	5.00	23	13.5	0.5
2021年7月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00		5.4	

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	△15.8	△25	—	△70	—	245	36.1	53.08
通期	6,600	△16.9	140	△21.8	70	△18.6	375	119.3	81.24

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期	5,000,000株	2019年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期	384,074株	2019年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数	2020年7月期	4,615,946株	2019年7月期	4,615,950株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 経営成績等の概況(1) 経営成績に関する分析 2. 次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
(追加情報)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

1. 当期の営業成績

当連結累計期間における世界経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大について収束の見通しが立っておらず、各国において移動制限等の感染拡大対策が取られていることを受け、企業活動や経済活動への制限を余儀なくされている状況が長期化しており、厳しい経済環境が続いております。

また、わが国経済におきましても、世界経済の減速に加え、依然として企業活動の自粛等が続いており、経済活動に制限がかかっていることを受け、世界経済同様、厳しい経済環境が続いております。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車・産業機器向け市場については低調な市場環境が続いているものの、次世代通信規格5G向けを中心に通信向け市場では部品需要が拡大しており、当連結累計期間においては部品需要は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済悪化により、今後の電子部品需要への影響が懸念される状況にあります。

当連結累計期間において当社グループは、前期に決定した施策を推進すべく通信向け分野を中心とした受注拡大のため東北工場に新ラインの建設を行い、積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,947百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は179百万円（前年同期は営業損失344百万円）、経常利益は86百万円（前年同期は経常損失410百万円）、また、親会社株主に帰属する当期純利益は第2四半期で投資有価証券売却益を計上したこと等から、171百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失625百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

当連結累計期間は、次世代通信規格5G向けを中心に部品需要が回復基調にある通信向け分野での受注拡大に向け、東北工場に新ラインを建設し積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は5,476百万円（前年同期比29.2%増）、営業利益は62百万円（前年同期は営業損失589百万円）となりました。

② 中国

当連結累計期間は、米中貿易摩擦による電子部品需要低迷に加え、中国政府が実施した環境規制強化に伴う操業制限や新型コロナウイルス感染症対策の操業制限もあったことから、売上高は前年同期に比較して減少する中で、経費削減等の収益改善施策を徹底してまいりました。

この結果、売上高は1,387百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は13百万円（前年同期比82.1%減）となりました。

③ フィリピン

当連結累計期間は、車載向け製品需要の低調が続いており、また第4四半期においては新型コロナウイルス感染症対策の操業制限が実施されたことから、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。また、主材料を中心とした改善活動に取り組んできたことから、通期での営業黒字を確保いたしました。

この結果、売上高は1,086百万円（前年同期比19.6%減）、営業利益は8百万円（前年同期比88.3%減）となりました。

2. 次期の見通し

当社グループを取り巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大について、現時点では収束の見通しが立っておらず、引き続き企業活動や経済活動への制限を余儀なくされるような状況が継続することが想定され、厳しい経済環境が続くことが想定されます。

当社グループが属する電子工業界におきましては、次世代通信規格5G向けを中心に通信向け市場での部品需要拡大に加え、また中長期的には自動車部品の電子化や産業機器のIoT化等、電子部品需要は拡大することが想定されますが、足元では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済悪化の影響が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは、需要が拡大している次世代通信規格5G向け製品の受注拡大に向け東北工場での新ライン増強を進めるとともに、国内での生産拠点の再編を着実に実行していくことに加え、当社連結子会社である山王電子（無錫）有限公司の持分譲渡を行い、経営資源の選択と集中を実施し一層の経営効率の向上に努めてまいります。

こうした状況から、当社グループの次期業績予想につきましては、売上高6,600百万円（前年同期比16.9%減）、営業利益140百万円（前年同期比21.8%減）、経常利益70百万円（前年同期比18.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益375百万円（前年同期比119.3%増）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想においては、期中での山王電子（無錫）有限公司の持分譲渡により、当該子会社が第2四半期以降連結決算から除外されることが現時点で想定され、本連結除外に伴う影響として2020年7月期比で1,050百万円の連結売上高の減少を見込むとともに、持分譲渡による特別利益350百万円を見込んでおりますが、本持分譲渡においては中国政府による許認可が前提となっており、中国政府の許認可の状況により、持分譲渡の時期等が変動する可能性があります。現時点で想定している持分譲渡の時期等と異なる状況になった場合には、速やかに業績予想の修正をいたします。

(2) 財政状態に関する分析

1. 当連結会計年度の資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、受取手形及び売掛金が706百万円、また機械装置及び運搬具が573百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ1,093百万円増加し、10,400百万円となりました（前連結会計年度末は9,307百万円）。

負債は、短期借入金が292百万円、1年内返済予定の長期借入金が386百万円、長期借入金が277百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ1,047百万円増加し、6,075百万円となりました（前連結会計年度末は5,027百万円）。

また純資産は利益剰余金が171百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ45百万円増加し、4,324百万円となりました（前連結会計年度末は4,279百万円）。

2. 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比較して148百万円減少し、2,480百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、339百万円の減少（前年同期は209百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が216百万円あったものの、売上拡大局面であったことから売上債権の増加額が717百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、682百万円の減少（前年同期は667百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が844百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、910百万円の増加（前年同期は475百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が607百万円あったものの、短期借入金の純増額が294百万円、長期借入れによる収入が1,271百万円あったこと等によるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当連結会計年度 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,898,708	2,684,295
受取手形及び売掛金	1,670,900	2,377,380
製品	110,131	144,781
原材料及び貯蔵品	1,358,319	1,673,321
その他	205,761	208,746
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,243,572	7,088,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	156,787	156,963
機械装置及び運搬具（純額）	459,159	1,033,007
土地	1,226,410	1,226,410
リース資産（純額）	150,108	114,133
建設仮勘定	273,683	51,433
その他（純額）	180,487	211,411
有形固定資産合計	2,446,637	2,793,359
無形固定資産	25,673	95,170
投資その他の資産		
投資有価証券	452,007	317,367
その他	139,325	106,434
投資その他の資産合計	591,332	423,802
固定資産合計	3,063,643	3,312,331
資産合計	9,307,216	10,400,608

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当連結会計年度 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,283	335,728
短期借入金	1,133,920	1,426,150
1年内返済予定の長期借入金	552,103	938,842
リース債務	45,473	47,056
未払法人税等	9,907	50,549
その他	517,722	543,023
流動負債合計	2,481,410	3,341,349
固定負債		
長期借入金	1,990,387	2,267,504
リース債務	159,301	112,200
退職給付に係る負債	217,419	205,087
繰延税金負債	55,723	28,042
その他	123,694	121,476
固定負債合計	2,546,526	2,734,311
負債合計	5,027,936	6,075,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	1,953,097	2,124,539
自己株式	△125,103	△125,125
株主資本合計	3,660,814	3,832,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,982	42,566
為替換算調整勘定	503,185	458,023
退職給付に係る調整累計額	△1,702	△7,875
その他の包括利益累計額合計	618,465	492,714
純資産合計	4,279,279	4,324,947
負債純資産合計	9,307,216	10,400,608

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)	当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)
売上高	7,101,909	7,947,099
売上原価	5,997,609	6,409,814
売上総利益	1,104,300	1,537,285
販売費及び一般管理費	1,449,283	1,358,140
営業利益又は営業損失(△)	△344,982	179,144
営業外収益		
受取利息	18,669	17,194
受取配当金	8,273	5,941
受取賃貸料	5,315	5,089
その他	21,569	16,166
営業外収益合計	53,826	44,391
営業外費用		
支払利息	46,147	51,274
為替差損	21,637	24,463
支払手数料	25,615	15,048
その他	25,875	46,216
営業外費用合計	119,276	137,003
経常利益又は経常損失(△)	△410,431	86,532
特別利益		
投資有価証券売却益	-	147,494
特別利益合計	-	147,494
特別損失		
固定資産売却損	611	-
固定資産除却損	32,079	1,512
減損損失	145,444	15,542
特別損失合計	178,135	17,054
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△588,567	216,971
法人税、住民税及び事業税	30,695	43,366
法人税等調整額	6,242	2,164
法人税等合計	36,938	45,530
当期純利益又は当期純損失(△)	△625,506	171,441
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△625,506	171,441

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)	当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△625,506	171,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,155	△74,416
為替換算調整勘定	△11,645	△45,162
退職給付に係る調整額	△5,600	△6,173
その他の包括利益合計	△76,400	△125,751
包括利益	△701,907	45,689
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△701,907	45,689

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	962,200	870,620	2,578,604	△125,103	4,286,320
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	△625,506	-	△625,506
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	△625,506	-	△625,506
当期末残高	962,200	870,620	1,953,097	△125,103	3,660,814

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	176,137	514,830	3,897	694,866	4,981,186
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	△625,506
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△59,155	△11,645	△5,600	△76,400	△76,400
当期変動額合計	△59,155	△11,645	△5,600	△76,400	△701,907
当期末残高	116,982	503,185	△1,702	618,465	4,279,279

当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	962,200	870,620	1,953,097	△125,103	3,660,814
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	171,441	-	171,441
自己株式の取得	-	-	-	△22	△22
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	171,441	△22	171,419
当期末残高	962,200	870,620	2,124,539	△125,125	3,832,233

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	116,982	503,185	△1,702	618,465	4,279,279
当期変動額					
剰余金の配当	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	171,441
自己株式の取得	-	-	-	-	△22
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△74,416	△45,162	△6,173	△125,751	△125,751
当期変動額合計	△74,416	△45,162	△6,173	△125,751	45,667
当期末残高	42,566	458,023	△7,875	492,714	4,324,947

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)	当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△588,567	216,971
減価償却費	261,117	355,997
減損損失	145,444	15,542
固定資産除却損	32,079	1,512
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,184	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△147,494
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,260	△18,396
受取利息及び受取配当金	△26,942	△23,135
支払利息	46,147	51,274
為替差損益(△は益)	24,050	21,621
売上債権の増減額(△は増加)	677,999	△717,531
たな卸資産の増減額(△は増加)	△69,121	△364,481
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,904	124,071
未払又は未収消費税等の増減額	△71,244	109,809
未払費用の増減額(△は減少)	△15,867	78,854
その他	△44,864	2,731
小計	263,883	△292,650
利息及び配当金の受取額	26,349	23,466
利息の支払額	△46,147	△51,274
法人税等の支払額	△35,036	△18,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,048	△339,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	130,168	246,511
定期預金の預入による支出	△195,838	△184,951
有形固定資産の取得による支出	△549,006	△844,780
無形固定資産の取得による支出	△6,133	△77,294
投資有価証券の取得による支出	△16,590	△11,668
投資有価証券の売却による収入	-	190,165
その他	△30,149	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△667,549	△682,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△377,640	294,480
長期借入れによる収入	1,410,000	1,271,000
長期借入金の返済による支出	△498,930	△607,144
リース債務の返済による支出	△64,668	△45,518
セール・アンド・リースバックによる収入	25,701	-
その他	△19,079	△2,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	475,383	910,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,568	△37,099
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,314	△148,031
現金及び現金同等物の期首残高	2,625,005	2,628,319
現金及び現金同等物の期末残高	2,628,319	2,480,288

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国等を山王電子（無錫）有限公司、東南アジアの各地域をSPMC（Sanno Philippines Manufacturing Corporation）がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「フィリピン」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益又は損失（△）は、営業利益ベースの金額であります。セグメント間の内部利益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年8月1日 至 2019年7月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,234,287	1,515,679	1,351,942	7,101,909	—	7,101,909
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,173	—	—	4,173	△4,173	—
計	4,238,460	1,515,679	1,351,942	7,106,083	△4,173	7,101,909
セグメント利益又は損失（△）	△589,405	73,592	74,222	△441,590	96,607	△344,982
セグメント資産	8,899,934	987,647	2,100,299	11,987,880	△2,680,664	9,307,216
その他の項目						
減価償却費	173,986	14,713	72,417	261,117	—	261,117
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	599,956	20,439	47,526	667,921	—	667,921

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額は、セグメント間の相殺消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	中国	フィリピン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,472,572	1,387,712	1,086,814	7,947,099	—	7,947,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,939	—	—	3,939	△3,939	—
計	5,476,512	1,387,712	1,086,814	7,951,039	△3,939	7,947,099
セグメント利益	62,125	13,167	8,679	83,972	95,172	179,144
セグメント資産	9,963,376	1,046,237	2,063,551	13,073,165	△2,672,557	10,400,608
その他の項目						
減価償却費	265,168	21,033	69,795	355,997	—	355,997
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	703,223	39,895	47,223	790,342	—	790,342

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額は、セグメント間の相殺消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、製品及びサービスの区分がないため、該当事項はありません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
2,089,539	30,053	327,044	2,446,637	—	2,446,637

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、貴金属表面処理事業の単一事業であり、製品及びサービスの区分がないため、該当事項はありません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
2,439,385	53,957	300,016	2,793,359	—	2,793,359

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)

(単位：千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
145,444	—	—	145,444	—	145,444

当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)

(単位：千円)

日本	中国	フィリピン	計	調整	合計
15,542	—	—	15,542	—	15,542

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)		当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)	
1株当たり純資産額	927.06円	1株当たり純資産額	936.96円
1株当たり当期純損失	135.51円	1株当たり当期純利益	37.14円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益又は1株あたり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年8月1日 至 2019年7月31日)	当連結会計年度 (自 2019年8月1日 至 2020年7月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△625,506	171,441
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△625,506	171,441
普通株式の期中平均株式数 (千株)	4,615	4,615

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の影響に関して、現時点では当社の国内各事業拠点においては、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、平常時と同水準の稼働率を維持しております。

しかしながら、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社及び連結子会社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年7月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、固定資産の評価（減損）について会計上の見積りを行っております。

(事業分離)

当社は、2020年7月14日開催の取締役会において、当社連結子会社山王電子（無錫）有限公司の全持分を譲渡する事業分離を決議いたしました。本事業分離は中国政府による許認可を前提としており、現時点では確定はしていません。

1 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

無錫特恒科技有限公司

(2) 分離した子会社の名称及び事業の内容

子会社の名称：山王電子（無錫）有限公司

事業の内容：貴金属表面処理加工業、精密プレス加工業

(3) 事業分離を行った理由

当社は目まぐるしく変化を続ける事業環境に適応すべく、当該子会社の全持分を譲渡することが、経営資源の選択と集中につながり、経営の効率を高めることでグループの総合的な企業価値向上に資すると判断し、譲渡を決議いたしました。

(4) 事業分離日

2020年11月（予定）

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金のみとする事業分離

2 分離した事業が含まれている報告セグメント

中国セグメント